



# 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

コード番号 2296 URL <http://www.itoham-yonekyu-holdings.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 功

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部IR室長 (氏名) 高武 彰

TEL 03-5723-6889

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	398,878	—	10,512	—	11,957	—	9,526	—
28年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 3,476百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	32.04	32.01
28年3月期第2四半期	—	—

(注) 当社は平成28年4月1日設立のため、前年同四半期の係数及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	360,147	203,700	54.6
28年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 196,805百万円 28年3月期 一百万円

(注) 当社は平成28年4月1日設立のため、前年度の係数は記載しておりません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年 3月期の連結業績予想(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	800,000	—	20,000	—	22,000	—	15,000	—	50.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は平成28年4月1日設立のため、対前年同四半期増減率及び対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	297,347,059 株	28年3月期	— 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	5,347 株	28年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	297,342,792 株	28年3月期2Q	— 株

(注) 当社は平成28年4月1日設立のため、前年同四半期及び前年度の係数は記載しておりません。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、リスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レート、獣疫など様々な要因により、予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は共同株式移転の方法により、平成28年4月1日付で伊藤ハム株式会社と米久株式会社の完全親会社として設立されました。なお、当連結会計年度が第1期となるため、前期実績及び前年同四半期実績はありません。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、平成28年4月1日に共同株式移転の方法により伊藤ハム株式会社、米久株式会社の完全親会社として設立されました。

なお、当連結会計年度が第1期となるため、前連結会計年度及び前四半期連結累計期間との対比は行っておりません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き緩やかな景気回復基調で推移しましたが、円高による企業業績の減速感の強まりから個人消費に一部弱さが見られ本格的な景気回復までには至りませんでした。また、新興国や資源国の景気減速、英国のEU離脱問題など海外経済の不確実性もあり、先行きについては不透明な状況が継続しております。

当業界におきましては、国産牛肉の高値相場が継続していることや消費者の生活防衛意識の高まりなど消費マインドが足踏み状態となる中、食料品等の日常生活品に対する低価格志向による企業間競争が激化しており、厳しい事業環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、4月1日に共同株式移転による経営統合を行い、事業規模の拡大を図るとともに両社の強みを持ち寄り、シナジー効果を創出し、持続的成長と企業価値の向上に向けてグループ一丸となって取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は3,988億78百万円、営業利益は105億12百万円、経常利益は119億57百万円となりました。また、投資有価証券売却益19億49百万円を特別利益に計上し、税金費用等を差し引いた結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、95億26百万円となりました。

報告セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

#### <加工食品事業>

ハム・ソーセージについては、消費者の低価格志向から販売競争が激化する中、コンシューマー商品では主力商品を中心にキャンペーン等によるプロモーションを実施するとともに、業務用商品についても積極的に拡販に努めた結果、販売量、売上高ともに伸長しました。

調理加工食品については、ハンバーグ類・チルドピザなどの主力商品が好調に推移したことに加え、中食市場への提案を強化したことでワンハンドスナック類やトンカツ・ハンバーグ類などのデリカ商品の売上が大幅に伸長しました。

中元ギフトについては、ギフト市場全体が低迷する中、フラッグシップギフトの「伝承」を中心に堅調に推移しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の加工食品事業の売上高は1,374億30百万円、営業利益は60億65百万円となりました。

#### <食肉事業>

国内事業については、国産牛肉の高値相場が継続した一方で、国産牛肉以外の畜種で販売単価が前年より下落する厳しい販売環境となりましたが、牛肉においては、輸入チルドビーフを中心に販売数量が大幅に伸長しました。また、豚肉においては、オリジナルブランドの拡販に注力し、輸入豚肉を中心に大幅に販売数量を伸ばしました。

海外事業については、アンズコフーズ社が為替の急激な変動や海外食肉相場下落の影響により、売上高が大幅に減少しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の食肉事業の売上高は2,613億77百万円、営業利益は50億73百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### 〔資産、負債及び純資産の状況〕

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、3,601億47百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金419億13百万円、受取手形及び売掛金803億80百万円、商品及び製品533億26百万円等の流動資産が2,116億21百万円、有形固定資産825億93百万円、無形固定資産284億66百万円、投資その他の資産374億66百万円の固定資産が1,485億26百万円であります。

負債は、1,564億46百万円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金633億68百万円、短期借入金145億29百万円等の流動負債が1,233億8百万円、長期借入金263億14百万円等の固定負債が331億38百万円であります。

純資産は、2,037億円となりました。主な内訳は、資本金300億円、資本剰余金980億5百万円、利益剰余金707億88百万円等の株主資本が1,987億89百万円であります。

### 〔キャッシュ・フローの状況〕

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、516億1百万円となりました。

#### ◇営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、得られた資金は55億10百万円となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益、非資金項目の減価償却費、仕入債務の増加によるものであり、主な減少要因は、売上債権の増加、たな卸資産の増加によるものであります。

#### ◇投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、支出した資金は28億77百万円となりました。主な減少要因は、設備更新等の有形固定資産の取得による支出であり、主な増加要因は、投資有価証券の売却による収入であります。

#### ◇財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、得られた資金は4億79百万円となりました。主な増加要因は、長期借入れによる収入であり、主な減少要因は、配当金の支払による支出であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期連結業績予想及び配当予想につきましては、平成28年5月12日に公表しました予想を修正しております。詳しくは、平成28年11月1日に公表しました「業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

### (3) 追加情報

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

米久かがやき(株)他6社は決算日を3月31日に変更しております。この変更に伴い、当第2四半期連結累計期間においては、米久かがやき(株)他4社は平成28年1月1日から平成28年9月30日までの9ヶ月間、米久おいしい鶏(株)他1社は平成28年2月1日から平成28年9月30日までの8ヶ月間を連結しており、連結損益計算書を通して調整する方法を採用しております。

なお、決算期を変更した米久かがやき(株)他4社の平成28年1月1日から平成28年3月31日まで並びに米久おいしい鶏(株)他1社の平成28年2月1日から平成28年3月31日までの営業利益は5億50百万円、経常利益は5億63百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億56百万円であります。

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間より適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第 2 四半期連結会計期間  
(平成28年 9 月 30 日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	41,913
受取手形及び売掛金	80,380
有価証券	10,200
商品及び製品	53,326
仕掛品	1,764
原材料及び貯蔵品	17,590
その他	6,473
貸倒引当金	△27
流動資産合計	211,621
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物 (純額)	30,392
機械装置及び運搬具 (純額)	22,069
工具、器具及び備品 (純額)	1,188
土地	26,052
リース資産 (純額)	1,412
その他 (純額)	1,477
有形固定資産合計	82,593
無形固定資産	
のれん	26,368
その他	2,098
無形固定資産合計	28,466
投資その他の資産	
投資有価証券	28,245
退職給付に係る資産	1,620
その他	7,789
貸倒引当金	△189
投資その他の資産合計	37,466
固定資産合計	148,526
資産合計	360,147

(単位：百万円)

当第 2 四半期連結会計期間  
(平成28年 9 月 30 日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	63,368
短期借入金	14,529
1年内返済予定の長期借入金	7,004
1年内償還予定の社債	10,000
未払法人税等	2,194
賞与引当金	4,156
その他	22,055
流動負債合計	123,308
固定負債	
長期借入金	26,314
退職給付に係る負債	806
資産除去債務	1,104
その他	4,913
固定負債合計	33,138
負債合計	156,446
純資産の部	
株主資本	
資本金	30,000
資本剰余金	98,005
利益剰余金	70,788
自己株式	△4
株主資本合計	198,789
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	4,659
繰延ヘッジ損益	△887
為替換算調整勘定	△3,659
退職給付に係る調整累計額	△2,097
その他の包括利益累計額合計	△1,984
新株予約権	220
非支配株主持分	6,674
純資産合計	203,700
負債純資産合計	360,147



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月 30 日)
売上高	398,878
売上原価	336,024
売上総利益	62,854
販売費及び一般管理費	52,341
営業利益	10,512
営業外収益	
受取利息	64
受取配当金	159
受取賃貸料	240
持分法による投資利益	1,428
その他	461
営業外収益合計	2,355
営業外費用	
支払利息	524
不動産賃貸費用	91
創立費	210
その他	84
営業外費用合計	910
経常利益	11,957
特別利益	
投資有価証券売却益	1,949
その他	227
特別利益合計	2,177
特別損失	
固定資産除却損	96
投資有価証券売却損	47
その他	74
特別損失合計	218
税金等調整前四半期純利益	13,916
法人税、住民税及び事業税	2,655
法人税等調整額	1,521
法人税等合計	4,176
四半期純利益	9,739
非支配株主に帰属する四半期純利益	213
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,526

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)
四半期純利益	9,739
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△1,696
繰延ヘッジ損益	△156
為替換算調整勘定	△2,571
退職給付に係る調整額	17
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,855
その他の包括利益合計	△6,263
四半期包括利益	3,476
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	3,841
非支配株主に係る四半期包括利益	△365

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	13,916
減価償却費	4,449
のれん償却額	766
受取利息及び受取配当金	△224
支払利息	524
持分法による投資損益 (△は益)	△1,428
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,902
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,050
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,691
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,436
未払金の増減額 (△は減少)	△1,447
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△394
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,250
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△849
その他	△131
小計	8,724
利息及び配当金の受取額	581
利息の支払額	△524
法人税等の支払額	△3,366
その他	94
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,510
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△5,268
無形固定資産の取得による支出	△283
投資有価証券の売却及び償還による収入	3,013
貸付けによる支出	△318
貸付金の回収による収入	165
その他	△186
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,877
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	124
長期借入れによる収入	3,651
長期借入金の返済による支出	△441
配当金の支払額	△2,495
その他	△359
財務活動によるキャッシュ・フロー	479
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,076
現金及び現金同等物の期首残高	30,459
株式移転に伴う現金及び現金同等物の増加額	18,065
現金及び現金同等物の四半期末残高	51,601

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、共同株式移転の方法により、平成28年4月1日付で伊藤ハム株式会社と米久株式会社の完全親会社として設立されました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が300億円、資本剰余金が980億5百万円、利益剰余金が707億88百万円、自己株式が△4百万円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、製品を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、主にハム・ソーセージ及び調理加工食品等の製造、販売を事業領域とする「加工食品事業」と主に食肉の生産、処理加工及び販売を事業領域とする「食肉事業」の2つを報告セグメントとしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格等に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	加工食品 事業	食肉 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	137,430	261,377	398,807	70	398,878	—	398,878
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,983	12,630	16,613	337	16,951	△16,951	—
計	141,413	274,008	415,421	407	415,829	△16,951	398,878
セグメント利益	6,065	5,073	11,138	76	11,215	△702	10,512

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人事給与関連業務サービス等であります。

2. セグメント利益の調整額の主な内容は、のれんの償却額△694百万円等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 【関連情報】

## 1. 製品及びサービスごとの売上高 (単位：百万円)

	当第 2 四半期 自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月 30 日
ハム・ソーセージ	85,381
調理加工食品	58,765
食肉	249,914
その他の	4,817
合計	398,878

## 2. 地域別の売上高 (単位：百万円)

	当第 2 四半期 自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月 30 日
日本	341,920
北米	17,165
アジア	15,480
オセアニア	11,519
欧州	10,246
その他の	2,547
合計	398,878